

事務事業名	中学生夏祭り参加支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和63年度～）		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	ふるさと意識の高揚と連帯感あふれる郷土づくりを目的に市内中学生の夏祭り参加に対して支援している。（ふるさと創生一億円事業を活用し、お祭り基金を造成し平成2年度から助成している） 真岡市の夏祭りは、町会連合会を主体に真組・真若及び各町会若が実行委員会を組織して3日間実施している。市内9中学校は、2日目の花火大会、お祭り広場に手づくり御輿等で参加している。（お祭り広場は平成17年度から、田町交差点に固定化し、花火大会と同時に開催となった。）							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 夏祭り参加会議への出席 ・補助金交付（申請 交付決定 補助金支出 事業 実績報告） ・中村中姉妹校参加あり（26人） H30は荒天（台風）により参加できず。 2年度計画 令和元年度と同様		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 夏祭り参加会議開催日数	日	3	3	3	3	3
		イ 補助金額	千円	6,301	5,941	5,808	8,099	9,944
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中学校夏祭り実行委員会		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 中学校夏祭り実行委員会会員数	人	9	9	9	9	9
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 各中学校の夏祭り参加が計画的で円滑に運営できるよう支援する。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 夏祭りの参加者（生徒数）	人	1,368	1,372	0	1,551	1350
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 祭りに参加した中学生にふるさと意識を体感してもらい、連帯感あふれる郷土づくりに目覚めてもらう。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 市内全中学生生徒数	人	2,368	2,338	2,319	2,281	2,253
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	6,301	5,941	5,808	8,099	9,944
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)		千円	6,301	5,941	5,808	8,099	9,944
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24
		人件費計(B)	千円	100	100	100	97	97
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,401	6,041	5,908	8,196	10,041	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	ふるさと意識の高揚と連帯感あふれる郷土づくりを目的に、中学生の夏祭り参加経費を昭和63年から支援した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	当初は姉妹校の参加は無かったが、現在では各中学校の外国の姉妹校の生徒達が交代で参加しており、中学生の国際交流に貢献している。 当初お祭り広場は3日目に開催されており、そこに参加していたが、お祭り広場が平成17年より2日目の田町北交差点に固定され、中学生御輿も2日目となった。また、合併により二宮地区3校が増えた。市内9中学校が参加。ただし、久下田、物部、長沼の3中学校については、生徒数が少ない理由により3中学校で1基での参加。R1において、真岡中・真岡東中の神輿軽量化を実施。中村中の半纏を新調した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	夏祭りの参加の際、集合時間と運行時間との間に待ち時間が長いので、タイムスケジュールについて検討してほしいとの意見がある。 神事への参加は控えさせてもらいたいとの意見がある。 日程が、郡大会等と重なり、日程を変更してもらいたいとの意見がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 中学生の夏まつり参加を通して、ふるさと意識の高揚を図りながら地域との連帯感が培われるので、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ふるさと意識の高揚を図りながら地域との連帯感を培う方法として、夏祭りの参加は効果的であり、支援は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 中学生の夏まつり参加を通してふるさと意識を高め、地域との連帯感を培うので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市内中学生全員を対象としているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 中学生の夏まつり参加事業を廃止または中止すると、ふるさと意識の高揚に繋がらず、影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 中学生が参加するための最低限の経費であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務、会議出席等の必要最低限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はなく、全中学生対象なので公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							